

# かこが話・和・輪

2018年5月 第6号  
発行：「かこがわ人の会」広報部

## 第1回例会 日岡山森林ウオーキング・ガイド (日岡山パブリックアート展)

2017年10月21日(土)

NPO 加古川緑化クラブコラボ事業として参加しました。当日は、あいにくの雨でしたが、芝生広場受付テントに一般の方を含め22名が集まり、2班にわかれ出発。まずは、いくびょう園へ向かい、コケ玉づくり・織物・雑貨品・展示物などを見て回りました。その後、OAAハリマハイツ、日岡御陵、最終日岡神社集合で宮司さんの話を聞きました。

パブリックアート展への参加ということで、緑化クラブ・インタープリンターの方々の園内のしつらえ、木々花々の説明も期待していましたが、なにぶんの大雨でかなわず、コースも大幅に変更。残念な部分もありましたが、雨に濡れたミニガーデンがしっとりと趣深く、印象にのこる日岡山めぐりとなりました。

春は桜の名所となりたくさんの人が訪れますが、秋も公園の自然を利用したこのようなイベントが開催され、日岡公園が発信される意義ある例会になったと思います。

### 日岡山めぐりに参加して

3期生 岩井真民



あの雨の中、行事があるかないか半信半疑で集合場所に向かった。私を含め参加者も多数集合していた。残念なことは雨で行事内容が変更になったことに尽きるが、日岡神社宮司日岡幾朗氏の話はよかった。開催側も大雨の中とはいえ、たいへん考え深いものとなったと思う。

これからもどんどん行事を組んで、会員の親睦とレベルアップを図ってほしい。私もかこがわ人としてレベルアップを図っていきたい。

### ウキウキバンビーナかこがわレポーターに出演して

1期生 濱田裕二

3月20日(火)は、新井用水の優れた工事を取り上げて具体的に説明しました。

新井用水の工事は、1655年の正月に始まり1656年、1年3ヶ月という短い期間で完成しました。この工事に携わった人夫は延べ16万4千人。約14kmの水路によって、約480haの農地に五ヶ井用水の六分の一の水が配られるようになりました。

しかし工事には、幾つもの難題がありました。新井用水は播磨町で喜瀬川と交差をしなければ水を送る事ができません。当時としては驚くべき技術が採用されました。新井用水を喜瀬川の下に潜り込ませて再び対岸で地上に出す逆サイフォン方式で立体交差させました。

## 2018 かがわ検定 かがわ学講座

2/3	昔、加古川に飛行場があった～陸軍加古川飛行場の歴史～	上谷昭夫さん
2/10	オッサンオッサンこれなんぼ?～卸売市場でお買い物～	北村隆幸さん
2/17	おとなのハイスクール「どっぴり播磨国風土記」	中西正和さん
2/24	「そう言えば、あれはどないやったんやろ?」 ～忘れかけたつい“こないだ”の思い出～	すっきゃ加古川 加古川オールスターズさん
3/3	かがわ検定合格塾	かがわ人の会有志
3/10	かがわ検定	
3/24	上級認定証授与式	

### かがわ検定合格塾講師初体験して

6期生 宮崎 弘  
4年ぶりに付け焼刃ですが復習しました。松尾先輩より全過去問題分析のデータを頂いたので何とか役目を済ませる事が出来ました。感謝しています。

英語のことわざに「教える事は習うことである」と言うのが有りますが、まさにそのとおりでした。後は私が話した事がいくつかでも出問されていれば嬉しいのですが、試験当日を楽しみにしています。




観光協会大庫会長 \* 武田 \* 岡田 \*  
(左三人目) (同五人目)  
有末 原田 入江 本西 岡井 袋瀬

### 2018 上級認定証授与式

2009年検定開始～  
2018年3月末現在  
上級認定者 計212名

2018 検定合格率  
上級 88%  
中級 89%  
初級 97%

## 新入会員紹介

## 2018年10期生

### 有末正治

加古川生まれ、加古川育ちです。私がこの会に入るきっかけは加古川のふるさとの唄「加古川よいとこ」を作詞したときです。「加古川よいとこ」は加古川のPR用の唄でもあります。かこがわ人の会に入りもっと加古川をPR出来ればと思います。

趣味と言える程のものではないですが、民謡と尺八です。よろしくお願ひいたします。



### 入江道子

初めまして。かこがわ人の会に入会させて頂きありがとうございます。高齢者大学いなみ野学園3年生に在学中です。

これから時間のある限り、目と足でkako-style2の本を見ながら探訪したいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

### 岡井征代

元気に動ける年代を他所で過ごし、老境に入って加古川愛に目覚め、ひよこかこがわ人として歩み始めました。今後何ができるかわかりませんがよろしくお願ひします。

幸い今は心だけは若さを保ち、コーラスと好きな語学を楽しみよい時間を過ごしています。

### 岡田泰朋

今年からお世話になります岡田泰朋と申します。

生まれも育ちも加古川ですが、加古川のこと、加古川の歴史をもっと知りたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

### 武田晴秀

JR加古川駅の近くで生まれ育ちましたが、20代で転居し、4年前に戻って参りました。戻ってみると駅前区画整理事業が完了し、すっきりした街並みに生まれ変わっていました。近隣の友人や神社仏閣などのほとんどが遠くへ引っ越しており、町内会も三つが合併していました。浦島太郎状態の私ですが、宜しくお願ひします。

### 原田百合

趣味はガーデニング・ウォーキング・マラソン・琴・読書・ドライブ・旅行・歴史・地理・考古学です。

北公民館で「まほろば案内人の会」

小野市で「きすみの野鳥を守る会」

鶴林寺で「加古川ガイドボランティア」に所属しています。よろしくお願ひします。

### 袋瀬 豊

昭和32年、愛媛県八幡浜市生まれ。小さい時から野球が好きで、八幡工業高校・多木化学でも野球を続けていました。現在は播磨町で秋祭り実行委員をしています。

今後とも笑顔でがんばりますので、よろしくおねがいします！！

### 本西敦子

「かこがわ人」認定証が送付されてきた時、とても嬉しかったです。

いなみ野学園の友人がかこがわ検定を受験されたので、私も挑戦いたしました。

「命」は「時間」の言葉を胸に秘めて暮らしています。南京玉すだれを練習し、ボランティア活動に時々参加しています。

## 第31回 十三夜観月会 ガイド研修

2017年11月1日(水)

5期生 原 正道

15時に鶴林寺山門前に集合。田中・山下両氏の案内で、折しも宝物館で開催中の秋の特別展「忘れてはならない戦争の記憶」展示を見学しました。特攻隊の供用された飛行機のミニチュアを始め、隊員の遺品・遺書・血判書・別れの儀式の写真等想像を絶する品々を目の当たりに感慨無量でした。

次に「忠魂特攻隊之碑」へ赴き、説明を受けた後講堂に移り、寺家町の「中村屋旅館」の主人宮田亀之助さんにより昭和34年に建立されましたが、平成13年旅館廃業に伴い、鶴林寺に移設、5月26日「少飛会」会員250名ら特攻隊員の関係者の碑の前で感涙されている姿が散見との話を聞きました。尾上町には陸軍の加古川飛行場があり、燃料の補給・機体整備基地としての役割を果たしていましたが、終戦近くに特攻隊の中継基地になり、「中村屋旅館」では隊員達が最後の夜を過ごしたそうです。

次に陸軍「加古川飛行場」について、「加古川飛行場を記録する会」上谷昭夫氏の資料を基に飛行場建設から飛行戦隊の配置、特別攻撃隊の結成、「忠魂特攻隊之碑」についての話がありました。

特攻隊の最終出撃地、鹿児島知覧基地で隊員の世話をした鳥濱トメ(特攻の母)さんゆかりの富屋食堂(現在は富屋旅館)や特攻隊機の実物の展示等生々しい展示物の話もありました。



会食の後三々五々観月会に参加し、普段耳にすることが出来ない鐘楼からの高麗鐘の音色とともに三重の塔の背景に見える月は本当に美しく、心の安寧を得たひと時でした。

## 第2回例会 加古川三大グルメ「恵幸川鍋」を囲む

2018年2月12日(月)

9期生 朝藤 芙樹

“うまいもんを食する会”に初めて参加、地産地消の恵幸川鍋を楽しみにしていました。42名もの参加で部屋は熱気ムンムン、「かこがわ人の会」の熱気を十分に感じました。味付けは酒粕、味噌でと思っていましたが、「かき庄」独特の味出汁だったのでは?牛肉、牡蠣、旬の食材がいっぱい、トマトまで入っているのに驚きました。最後はうどんで締め、とても美味しく頂き完食でした。

同じテーブルの方々ともお話が弾み、ビンゴゲームは大いに盛り上がり3時間はあっという間に過ぎ、楽しい会はお開きとなりました。

\*編集後記\*



今年は、「かこがわ人の会」設立10周年!

会員数も100名を超えました。これからも楽しく歴史や文化を学び、自然に触れ合い「わがまち加古川」の魅力を広めていきましょう!

## 第31回 十三夜観月会 ガイド研修

2017年11月1日(水)

5期生 原 正道

15時に鶴林寺山門前に集合。田中・山下両氏の案内で、折しも宝物館で開催中の秋の特別展「忘れてはならない戦争の記憶」展示を見学しました。特攻隊の供用された飛行機のミニチュアを始め、隊員の遺品・遺書・血判書・別れの儀式の写真等想像を絶する品々を目の当たりに感慨無量でした。

次に「忠魂特攻隊之碑」へ赴き、説明を受けた後講堂に移り、寺家町の「中村屋旅館」の主人宮田亀之助さんより昭和34年に建立されましたが、平成13年旅館廃業に伴い、鶴林寺に移設され、5月26日「少飛会」会員250名ら特攻隊員の関係者が碑の前で感涙されている姿が散見されているとの話がありました。尾上町には陸軍の加古川飛行場があり、燃料の補給・機体整備基地としての役割を果たしていましたが、終戦近くに特攻隊の中継基地になり、「中村屋旅館」では特攻隊員達が最後の夜を過ごしたそうです。

次に陸軍「加古川飛行場」について、「加古川飛行場を記録する会」上谷昭夫氏の資料を基に飛行場建設から飛行戦隊の配置、特別攻撃隊の結成、「忠魂特攻隊之碑」についての話がありました。

特攻隊の最終出撃地、鹿児島知覧基地で隊員の世話をした鳥濱トメ(特攻の母)さんゆかりの富屋食堂(現在は富屋旅館)や特攻隊機の実物の展示等生々しい展示物の話がありました。



会食の後三々五々観月会に参加し、普段耳にすることが出来ない鐘楼からの高麗鐘の音色とともに三重の塔の背景に見える月は本当に美しく、心の安寧を得たひと時でした。

## 第2回例会 加古川三大グルメ「恵幸川鍋」を囲む

2018年2月12日(月)

9期生 朝藤 芙樹

“うまいもんを食する会”に初めて参加、地産地消の恵幸川鍋を楽しみにしていました。42名もの参加で部屋は熱気ムンムン、「かこがわ人の会」の熱気を十分に感じました。味付けは酒粕、味噌でと思っていましたが、「かき庄」独特の味出汁だったのでは?牛肉、牡蠣、旬の食材がいっぱい、トマトまで入っているのに驚きました。最後はうどん締め、とても美味しく頂き完食でした。

同じテーブルの方々ともお話が弾み、ビンゴゲームは大いに盛り上がり3時間はあっという間に過ぎ、楽しい会はお開きとなりました。

\*編集後記\*



今年は、「かこがわ人の会」設立10周年!

会員数も100名を超えました。これからも楽しく歴史や文化を学び、自然に触れ合い「わがまち加古川」の魅力を広めていきましょう!